

# 平成24年度卒業時アンケート調査

古井 陽之助  
Younosuke Furui

九州産業大学情報科学部情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~furui/

## 1. はじめに

カリキュラム全般及び学習環境・設備改善の方策として、平成17年度以来後期に卒業予定者を対象とした無記名アンケート調査を実施してきた[仲06, 仲07, 仲08, 田中09, 田中10, 田中11, 田中12]。本稿では、平成24年度の実施内容と結果の概要を報告する。

## 2. 方法

### 2.1 調査項目

調査の対象として取り上げた項目は以下の通りである。

- (1) 授業科目全般に関する平均的評価
  - a 専門科目の難易度
  - b 専門科目の満足度
  - c 基礎教育科目の難易度
  - d 基礎教育科目の満足度
  - e 外国語科目の難易度
  - f 外国語科目の満足度
  - g 教育内容全体の満足度
- (2) 各授業科目について
  - a 卒業研究の指導に対する満足度
  - b 興味が持てた科目
  - c 興味が持てなかった科目
  - d よく理解できた科目
  - e よく理解できなかった科目
  - f 将来役に立つと考えられる科目
  - g 将来役に立たないと考えられる科目
- (3) 学習環境・設備について
  - a ゼミナール室などの学習環境の満足度
  - b コンピュータ・ネットワーク環境全般の満足度
  - c 環境・設備面で気に入っているところ
  - d 環境・設備面で気に入っていないところ
  - e 講義記録システムの利用目的
- (4) その他
  - a オフィスアワー制度の満足度
  - b 資格取得サポートの満足度
  - c 学習支援室の満足度
  - d キャリア支援センターによる進路指導の有効性
  - e キャリア支援センター運営委員(就職担当の教員)による進路指導の有効性
  - f 卒業研究指導教員による進路指導の有効性

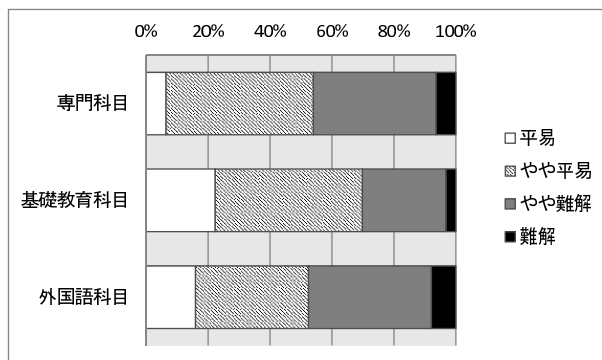


図1 講義の難易度

なお、平成23年度からの変更点は次の通りである。

- (3) の質問 c の選択肢のうち「学習支援室」を削除した。
- (4) からキャップ制の可否についての質問を削除した。
- (4) に学習支援室の満足度についての質問を追加した。

### 2.2 調査方法

本調査は、平成24年度卒業予定者を対象とし、Webで作成したオンラインの質問紙法(無記名アンケート)を用いて実施した。対象者数は78人であり、このうち平成21年度入学生(学籍番号が「09JK」から始まる)が60人、平成20年度入学生(学籍番号が「08JK」から始まる)が16人、平成19年度入学生(学籍番号が「07JK」から始まる)が2人であった。回答期間は平成25年1月28日(月)から2月1日(金)までであった。具体的な質問内容と回答選択肢は付録Aに示す。

## 3. 結果

回答数は63人、回答率は80.8%であった。以下、調査の大項目毎に結果を紹介する。

### 3.1 授業科目全般に関する平均的評価

専門科目、基礎教育科目、及び外国語科目の難易度を図1に示す。いずれの科目群も「難解」の評価はごくわずかであり、全般的な講義の難易度に関しては特に問題はないと考える。これらの傾向は平成17年度からほぼ変わっていない。

専門科目、基礎教育科目、外国語科目、教育内容全般、

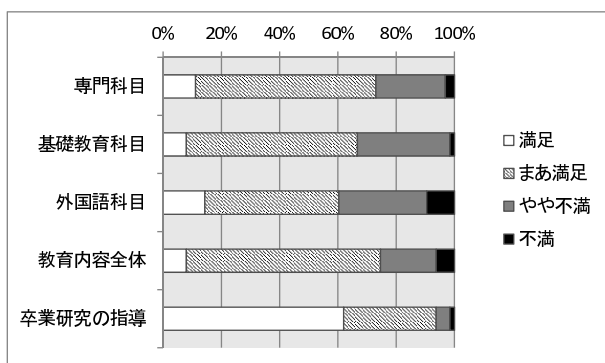


図2 講義の満足度

卒業研究についての満足度を図2に示す。卒業研究以外については、ほとんどの学生が「やや不満」ないし「まあ満足」と回答しており、「まあ満足」が最頻値となった。卒業研究については「満足」が最も多く、「まあ満足」がこれに次いでいる。以上の結果にみられる傾向は平成17年度から平成23年度までと同様であった。

### 3.2 各授業科目について

調査対象とした科目を表B.1に示す。また、興味ももてた/もてなかった科目、よく理解できた/できなかった科目、将来役に立つ/立たないと思う科目の集計結果を図B.1～図B.3に示す。全体として、興味ももてた度数、よく理解できた度数、及び将来役に立つ度数には正の相関が認められる。また、興味ももてない度数、よく理解できなかった度数、及び将来役に立たない度数にも同様に正の相関がみられる。

各授業科目の評価結果は、例年とほぼ同様の傾向であった。1年次開講科目の中では、数学系の科目に対してプログラミング基礎や情報リテラシーなどの演習・実習系の科目の評価が高い。2年次開講科目の中では、情報回路Ⅰ・Ⅱ及び情報回路実験といった実習・演習系のハードウェア関連科目と、ソフトウェア演習、データ構造とアルゴリズムⅠ・Ⅱといったソフトウェア関連科目の評価が高い。3年次開講科目の中では、データベース、Webプログラミング演習、エンジニアリングエコノミー、インターネット工学、コンピュータグラフィックス基礎、及びコンピュータグラフィックス応用の評価が高い。4年次開講科目の中では卒業研究の評価が高い。

### 3.3 学習環境・設備について

ゼミナール室などの学習環境及びコンピュータ・ネットワーク環境全般に関する満足度を図3に示す。両方の項目に関して、平成17年度から平成23年度までと同様、ほとんどの学生が「まあ満足」ないし「満足」と評価している。

「環境・設備面で気に入っている/気に入っていないところ」の集計結果を図5に示す。講義記録システム、ネッ

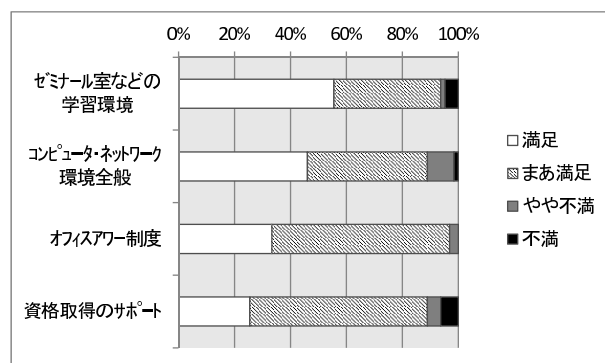


図3 学習環境・設備の満足度

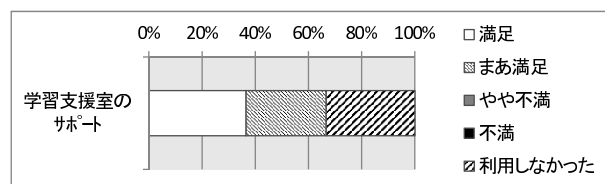


図4 学習支援室の満足度

トワーク、貸与PC、サポートセンター（PCインフォスクエア九産大店）、学生証による出席調査、及びK'sLife（本学の学生教育支援・事務情報システム）の評価が高い。一方、リフレッシュコーナー、PC一時保管用ロッカーの評価は低い。これらの傾向は平成17年度から平成23年度までとほぼ同様である。

講義記録システムの利用目的に関する集計結果を図6に示す。復習、レポート課題の確認、及び試験勉強がほとんどを占めており、講義後の学習に主に利用されていることが分かる。

### 3.4 その他

オフィスアワー制度及び資格取得サポートに関する満足度を図3に示す。これらは、ゼミナール室などの学習環境及びコンピュータ・ネットワーク環境全般に関する満足度と比べると、「満足」の度数が低い。この傾向は平

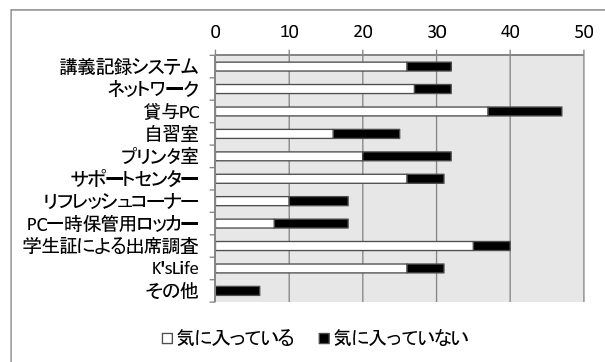


図5 環境・設備面で気に入っている/気に入っていないところ (単位は人)

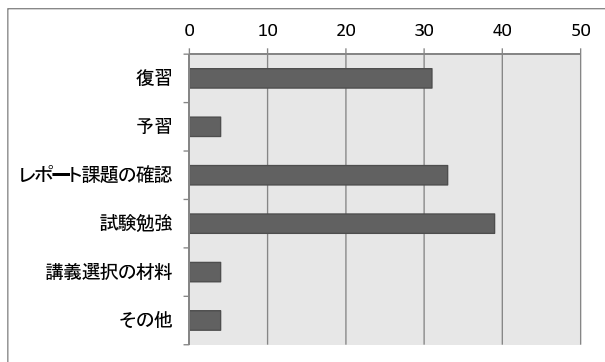


図6 講義記録システムの使用目的 (単位は人)

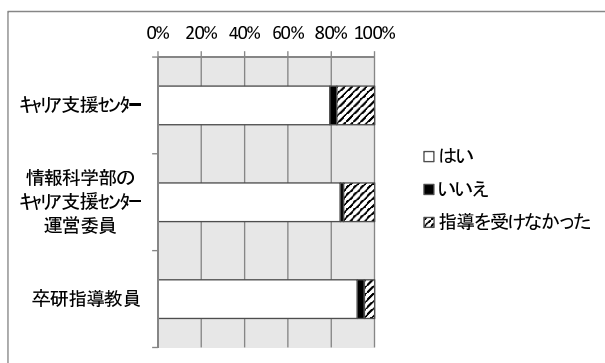


図7 進路指導の有効性

成 17 年度から平成 23 年度までと同様である。

学習支援室に関する満足度を図 4 に示す。この項目は平成 24 年度に初めて設けたものである。選択肢として「満足」から「不満」までのほかに「利用したことがない」を設けたところ、7 割弱が「満足」ないし「まあ満足」と回答し、残る 3 割超が「利用したことがない」と回答した。利用したことがある学生の満足度は極めて高いことが分かる。

進路指導の有効性に対する評価を図 7 に示す。ほとんどの学生が進路指導が役に立ったと回答した。これらの傾向は平成 17 年度から平成 23 年度までと同様である。

#### 4. ま と め

本稿では、平成 24 年度卒業予定者を対象として実施した、カリキュラム全般及び学習環境・設備に関する調査結果を報告した。授業科目全般の難易度と満足度に関する評価は良好であった。また、学習環境・設備に関する満足度は高い評価を得た。個々の授業科目や学習環境・設備についての評価データは、今後の改善に役立てることができると考える。

#### ◇ 参 考 文 献 ◇

[仲 06] 仲隆：平成 17 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学

情報科学会誌，Vol. 5，No. 1，pp. 13-16 (2006)。

[仲 07] 仲隆：平成 18 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学情報科学会誌，Vol. 6，No. 1，pp. 37-41 (2007)。

[仲 08] 仲隆：平成 19 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学情報科学会誌，Vol. 7，No. 1，pp. 43-47 (2008)。

[田中 09] 田中，仲：平成 20 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学情報科学会誌，Vol. 8，No. 1，pp. 15-19 (2009)。

[田中 10] 田中康一郎：平成 21 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学情報科学会誌，Vol. 9，No. 1，pp. 15-19 (2010)。

[田中 11] 田中康一郎：平成 22 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学情報科学会誌，Vol. 10，No. 1，pp. 23-27 (2011)。

[田中 12] 田中康一郎：平成 23 年度卒業時アンケート調査，九州産業大学情報科学会誌，Vol. 11，No. 1，pp. 17-21 (2012)。

#### ◇ 付 録 ◇

##### A. 平成 24 年度情報科学部卒業時アンケート

実際に調査に用いた質問紙の内容を示す。項目中、[理由]、及び[記述]は自由記述欄が対応する。また、「(2) 各授業科目について」において調査対象とした科目の一覧を表 B.1 に示す。平成 21 年度にカリキュラム変更があったことに伴い、科目名が受講生の入学年度によって異なる場合があるので、そのような科目については平成 21 年度入学生 (09JK) 向けの科目名を先に記し、平成 20 年度入学生 (08JK) あるいはそれ以前の入学生向けの科目名を〔 〕で囲んで併記した。例えば、「数学基礎演習〔基礎数学〕」という表記は、その科目が 09JK 向けとしては「数学基礎演習」であり、また 08JK 向けとしては「基礎数学」であったことを示す。なお、08JK 向けとしては存在したが、09JK から廃止された科目については、〔 〕で囲んだ科目名のみを示した。

##### (1) 授業科目全般について

- 専門科目の講義の難易度を平均的に見ると：平易，やや平易，やや難解，難解
- 専門科目の講義方法を平均的に見ると：不満，やや不満，まあ満足，満足
- 基礎教育科目の講義の難易度を平均的に見ると：平易，やや平易，やや難解，難解
- 基礎教育科目の講義方法を平均的に見ると：不満，やや不満，まあ満足，満足
- 外国語科目の講義の難易度を平均的に見ると：平易，やや平易，やや難解，難解
- 外国語科目の講義方法を平均的に見ると：不満，やや不満，まあ満足，満足
- 教育内容全体を平均的に見ると：不満，やや不満，まあ満足，満足

##### (2) 各授業科目について

- 卒業研究の指導については：不満 [理由]，やや不満 [理由]，まあ満足，満足
- 興味をもてた科目は (複数回答)：基礎ゼミナール (情報科学基礎演習 I)，数学基礎演習〔基礎数学〕，情報科学序説，離散数学 I (集合論)，線形代数 I，情報リテラシー，情報リテラシー演習，基礎ゼミナール (情報科学基礎演習 II)，グラフ理論〔離散数学 III-A/B〕，プログラミング基礎，計算機アーキテクチャ，線形代数 II，微分積分 I，物理学，物理学演習，ソフトウェア演習〔ソフトウェア演習 I〕，データ構造とアルゴリズム I，計算機システム，情報回路 I (情報回路)，情報理論・確率論，離散数学 II (代数系)，現代自然科学，日本語表現法，微分積分 II，データ構造とアルゴリズム II，情報回路 II (情報回路設計)，情報回路実験 I (情報科学基礎実験)，数理論理学〔離散数学 IV-A/B〕，統計学，認知科学，工学的センスの基礎，微分方程式，〔微分方程式演習〕，ソフトウェア工学，医療情報システム論，感性科学，金融システム論，交通システム論，工業デザイン，自然言語処理，情報システムプロジェクト管理，信号処理，アルゴリズム論 I，オブジェクト指向設計，オペレーティングシステム，コンピュータネットワー

- ク、データベース、データ構造とアルゴリズム III, 計画数学, 情報回路 III, 情報回路実験 II〔情報回路実験〕, Webプログラミング演習〔ソフトウェア演習 II〕, グラフィックスプログラミング演習〔ソフトウェア演習 II〕, ゲームプログラミング演習〔ソフトウェア演習 II〕, 情報技術者倫理, インターンシップ, エンジニアリングエコノミー, 安全科学, 位相幾何学, 数理統計学, 微分幾何学, 情報科学演習 I〔社会情報システム学演習/知能情報学演習 I〕, 情報科学演習 II〔社会情報システム学演習/知能情報学演習 II〕, インターネット工学, ヒューマンインタフェース, マルチメディア, モバイルコンピューティング, 音声・画像/処理・理解, 経営情報学, 社会情報学(特許/知的所有権), 情報セキュリティ, 組込みシステム/VLSI 工学, 並列処理と分散処理, 流通システム論, アルゴリズム論 II, コンピュータグラフィックス基礎, プログラミング言語とコンパイラ, 計算モデル論, 知能情報システム論〔人工知能論〕, 〔知識工学〕, 計画と管理, 初等幾何学, 情報と職業, コンピュータグラフィックス応用, 卒業研究, その他 [記述]
- c 興味がもてなかった科目は(複数回答): 前問と同じ選択肢
- d よく理解できた科目は(複数回答): 前問と同じ選択肢
- e よく理解できなかった科目は(複数回答): 前問と同じ選択肢
- f 将来役に立つと考えられる科目は(複数回答): 前問と同じ選択肢
- g 将来役に立たないと考えられる科目は(複数回答): 前問と同じ選択肢
- (3) 学習環境・設備について
- a セミナール室などの学習環境について: 不満 [理由], やや不満 [理由], まあ満足, 満足
- b コンピュータ・ネットワーク環境全般について: 不満 [理由], やや不満 [理由], まあ満足, 満足
- c 環境面・設備面で気に入っているところは(複数回答): 講義記録システム, ネットワーク, 貸与 PC, 自習室, プリント室, サポートセンター, リフレッシュコーナー, PC 一時保管用ロッカー, 学生証による出席調査システム, K'sLife, その他 [記述]
- d 環境面・設備面で気に入っていないところは(複数回答): 前問と同じ選択肢
- e 講義記録システムをどのような目的で利用しましたか(複数回答): 復習, 予習, レポート課題の確認, 試験勉強, 講義選択の材料, その他 [記述]
- (4) その他
- a オフィスアワー制度(特定の時間に学生からの質問への対応のために, 教員が研究室に待機している制度)について: 不満 [理由], やや不満 [理由], まあ満足, 満足
- b 資格取得のサポートについて: 不満 [理由], やや不満 [理由], まあ満足, 満足
- c 学習支援室のサポートについて: 不満 [理由], やや不満 [理由], まあ満足, 満足, 利用しなかった
- d キャリア支援センターの進路指導は役立ちましたか: はい, いいえ [理由], 指導を受けなかった [理由]
- e 情報科学部キャリア支援センター運営委員(就職担当の教員)の進路指導は役立ちましたか: はい, いいえ [理由], 指導を受けなかった [理由]
- f 卒業研究指導教員の進路指導は役立ちましたか: はい, いいえ [理由], 指導を受けなかった [理由]

## B. 科目別評価結果

調査項目の「(2) 各授業科目について」に関する集計結果を図 B.1～図 B.3 に示す。

表 B.1 調査対象科目

科目名が平成 21 年度入学生 (09JK) 向けと平成 20 年度入学生 (08JK) 向けと異なる場合は、後者の科目名を〔 〕で囲んで併記した。

09JK科目名〔08JK科目名〕	09JK			08JK	
	年次	学期	情報 科学科	社会情報 システム学科	知能情報 学科
基礎ゼミナール(情報科学基礎演習Ⅰ)	1	前期	○	○	○
数学基礎演習〔基礎数学〕	1	前期	○	○	○
情報科学序説	1	前期	○	○	○
離散数学Ⅰ(集合論)	1	前期	○	○	○
線形代数Ⅰ	1	前期	○	○	○
情報リテラシー	1	前期	○	○	○
情報リテラシー演習	1	前期	○	○	○
基礎ゼミナール(情報科学基礎演習Ⅱ)	1	後期	○	○	○
グラフ理論〔離散数学Ⅲ-A/B〕	1	後期	○	○	○
プログラミング基礎	1	後期	○	○	○
計算機アーキテクチャ	1	後期	○	○	○
線形代数Ⅱ	1	後期	○	○	○
微分積分Ⅰ	1	後期	○	○	○
物理学	1	後期	○	○	○
物理学演習	1	後期	○	○	○
ソフトウェア演習〔ソフトウェア演習Ⅰ〕	2	前期	○	○	○
データ構造とアルゴリズムⅠ	2	前期	○	○	○
計算機システム	2	前期	○	○	○
情報回路Ⅰ〔情報回路〕	2	前期	○	○	○
情報理論・確率論	2	前期	○	○	○
離散数学Ⅱ(代数学)	2	前期	○	○	○
現代自然科学	2	前期	○	○	○
日本語表現法	2	前期	○	○	○
微分積分Ⅱ	2	前期	○	○	○
データ構造とアルゴリズムⅡ	2	後期	○	○	○
情報回路Ⅱ〔情報回路設計〕	2	後期	○	○	○
情報回路実験Ⅰ〔情報科学基礎実験〕	2	後期	○	○	○
数理論理学〔離散数学Ⅳ-A/B〕	2	後期	○	○	○
統計学	2	後期	○	○	○
認知科学	2	後期	○	○	○
工学的センスの基礎	2	後期	○	○	○
微分方程式	2	後期	○	○	○
〔微分方程式演習〕	2	後期	○	○	○
ソフトウェア工学	3	前期	○	○	○
医療情報システム論	3	前期	○	○	○
感性科学	3	前期	○	○	○
金融システム論	3	前期	○	○	○
交通システム論	3	前期	○	○	○
工業デザイン	3	前期	○	○	○
自然言語処理	3	前期	○	○	○
情報システムプロジェクト管理	3	前期	○	○	○
信号処理	3	前期	○	○	○
アルゴリズム論Ⅰ	3	前期	○	○	○
オブジェクト指向設計	3	前期	○	○	○
オペレーティングシステム	3	前期	○	○	○
コンピュータネットワーク	3	前期	○	○	○
データベース	3	前期	○	○	○
データ構造とアルゴリズムⅢ	3	前期	○	○	○
計画数学	3	前期	○	○	○
情報回路Ⅲ	3	前期	○	○	○
情報回路実験Ⅱ〔情報回路実験〕	3	前期	○	○	○
Webプログラミング演習〔ソフトウェア演習Ⅱ〕	3	前期	○	○	○
グラフィックスプログラミング演習〔ソフトウェア演習Ⅱ〕	3	前期	○	○	○
ゲームプログラミング演習〔ソフトウェア演習Ⅱ〕	3	前期	○	○	○
情報技術者倫理	3	前期	○	○	○
インターシップ	3	前期	○	○	○
エンジニアリングエコノミー	3	前期	○	○	○
安全科学	3	前期	○	○	○
位相幾何学	3	通年	○	○	○
数理統計学	3	通年	○	○	○
微分幾何学	3	通年	○	○	○
情報科学演習Ⅰ〔社会情報システム学演習/知能情報学演習Ⅰ〕	3	後期	○	○	○
情報科学演習Ⅱ〔社会情報システム学演習/知能情報学演習Ⅱ〕	3	後期	○	○	○
インターネット工学	3	後期	○	○	○
ヒューマンインタフェース	3	後期	○	○	○
マルチメディア	3	後期	○	○	○
モバイルコンピューティング	3	後期	○	○	○
音声・画像/処理・理解	3	後期	○	○	○
経営情報学	3	後期	○	○	○
社会情報学(特許/知的所有権)	3	後期	○	○	○
情報セキュリティ	3	後期	○	○	○
組込みシステム/VLSI工学	3	後期	○	○	○
並列処理と分散処理	3	後期	○	○	○
流通システム論	3	後期	○	○	○
アルゴリズム論Ⅱ	3	後期	○	○	○
コンピュータグラフィックス基礎	3	後期	○	○	○
プログラミング言語とコンパイラ	3	後期	○	○	○
計算モデル論	3	後期	○	○	○
知能情報システム論〔人工知能論〕	3	後期	○	○	○
〔知識工学〕	3	後期	○	○	○
計画と管理	3	後期	○	○	○
初等幾何学	3	後期	○	○	○
情報と職業	3	後期	○	○	○
コンピュータグラフィックス応用	4	前期	○	○	○
卒業研究	4	通年	○	○	○

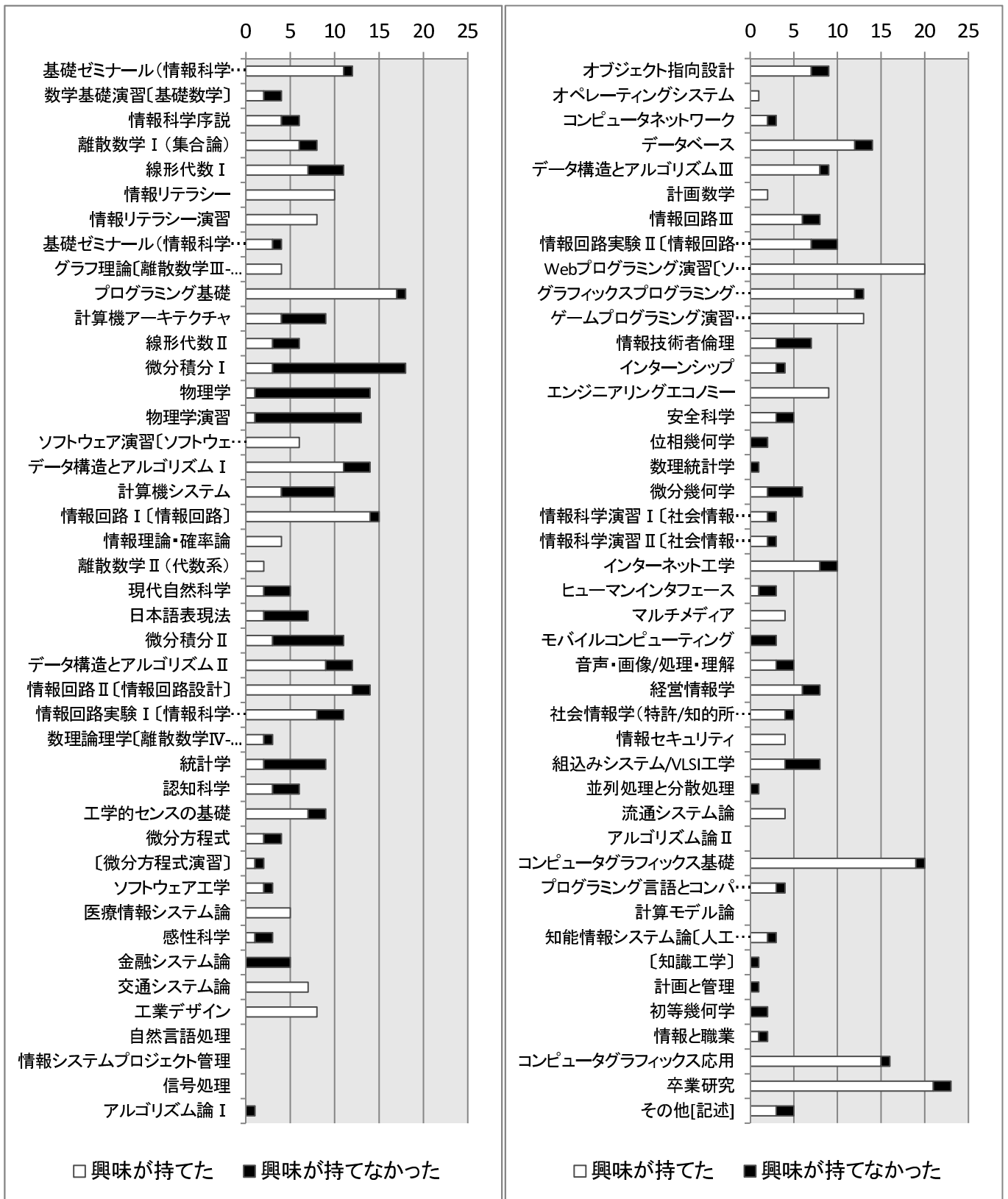


図 B.1 興味を持てた / 興味を持てなかった科目 (単位は人)

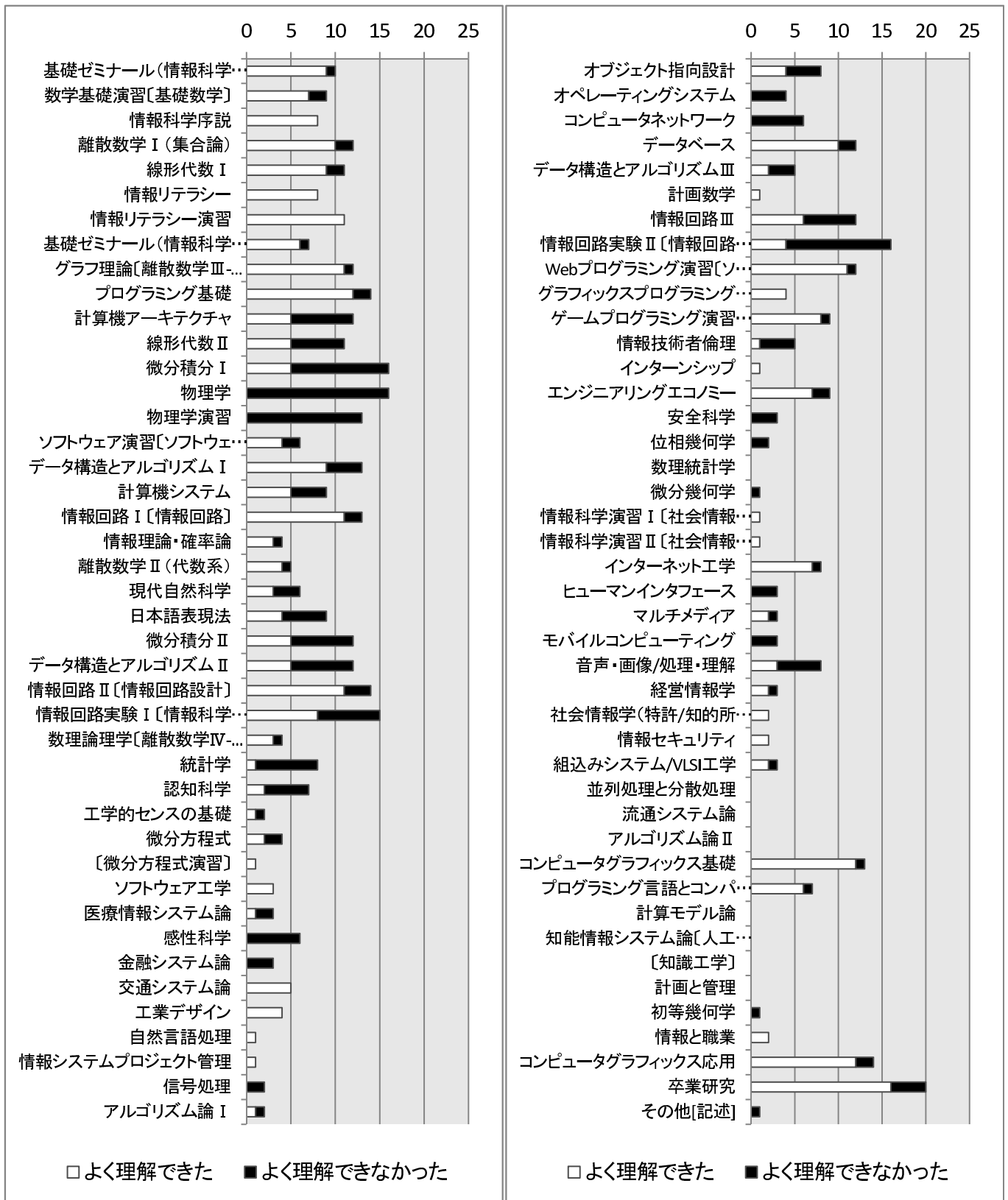


図 B.2 よく理解できた科目 / よく理解できなかった科目 (単位は人)

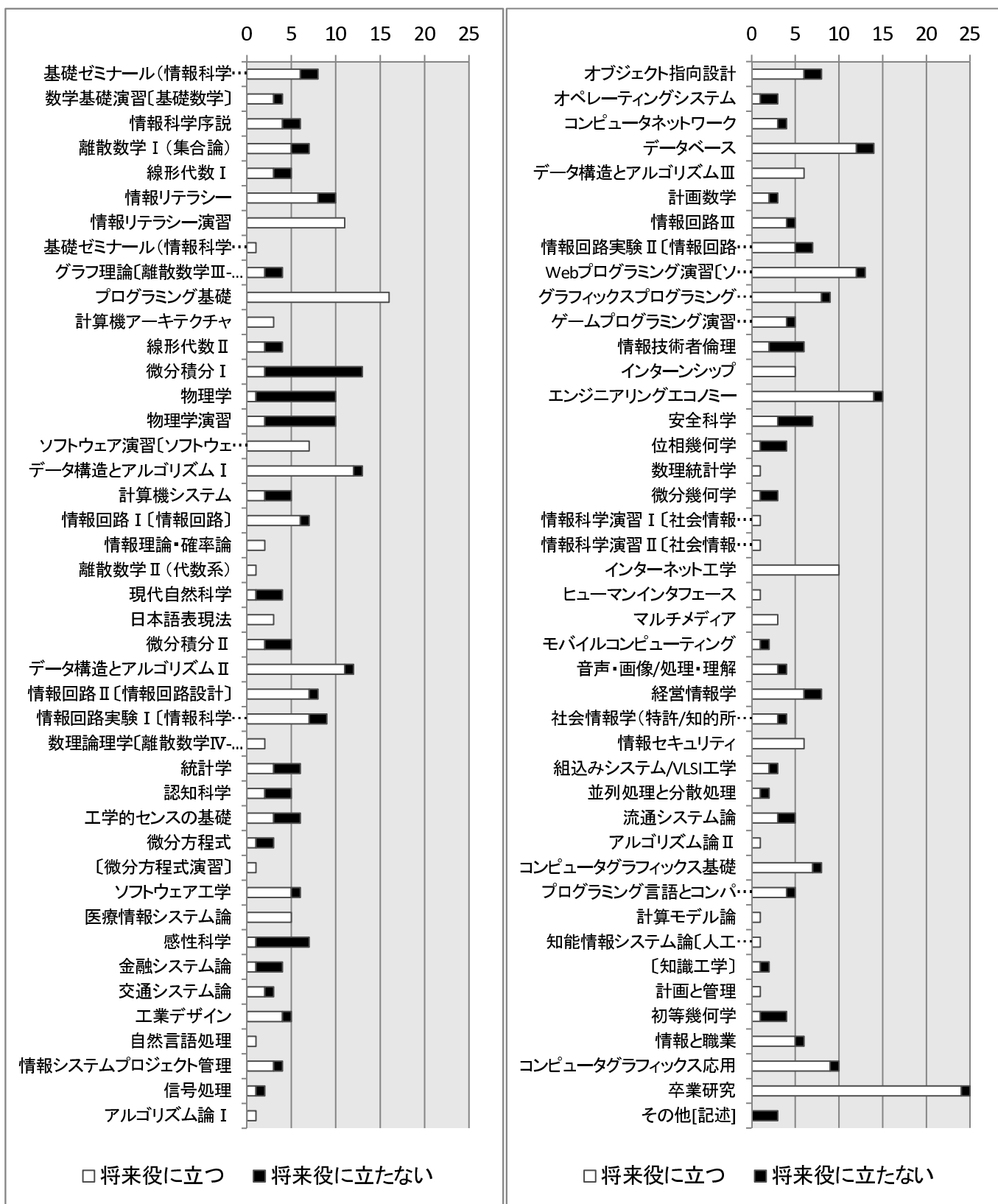


図 B.3 将来役に立つ/将来役に立たないと考えられる科目 (単位は人)